

平成30年9月に発生した配電線事故の概要

1

① 9月1日（土） 落雷による停電発生



- 落雷の影響で高圧線にフリッカー（チラツキ）が発生し、高圧スイッチを開放させたものと推定。
- 同時に通信障害が発生し、精華事務所で停電状況を把握できなかった。
- お客さまからの停電申出（コールセンター）により、現場確認し送電作業を行った。

※通信障害については、特別な測定器等が必要なため、測定器手配調整を行い9月5日以降調査改修する予定とした。

② 9月4日（火） 台風21号による停電発生

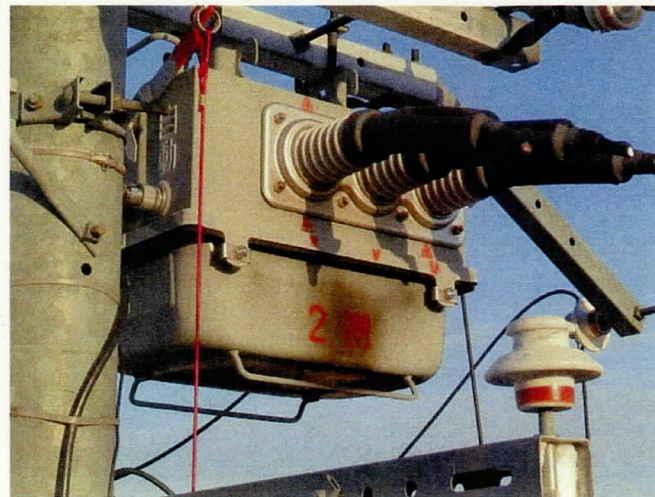


- 台風21号の影響で高圧線に飛来物等が接触し、変電所FCB(スイッチ)が開放した。すぐに飛来物等が風で飛んでいき、原因が取り除かれたため、1分後に試送電が完了したと推定。
- 試送電は完了したが、飛来物等が接触したショックで、自動で「投入」されるはずの開閉器が「開放」されたままとなり、一部で停電が継続した。
- 台風復旧作業が輻輳する中で、通信障害が1日より継続しており、精華事務所で停電状況を把握出来なかった。
- お客さまからの停電申出(精華事務所来所)により現場確認し、設備異常なしを確認のうえ送電作業を行った。

※通信障害については、平成30年9月14日改修完了。

③ 9月23日（日） 高圧スイッチ焼損による停電事故発生

- 高圧スイッチが雷により焼損し停電事故となった。
- 通信障害も解消できており、通常の停電事故復旧により送電を実施。
- 焼損した高圧スイッチは取替え完了現在は正常状態



- 実際の焼損した高圧スイッチ、外観については異常なく内部が雷により焼けている。